

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本工学院専門学校	昭和51年7月1日	千葉 茂	〒144-8555 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 片柳学園	昭和25年3月1日	片柳 鴻	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111			
目 的	企業等との密接な連携により、最新の実務の知識、技術、技能等を身に付けることで、より実践的な職業教育の質を確保する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	建築設計科	2年 (昼)	1740単位時間 (又は単位)	平成9年文部科学大臣告示第184号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		915単位時間 (又は61単位)	— 単位時間 (又は単位)	— 単位時間 (又は単位)	1275単位時間 (又は36単位)	— 単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		208人	4人	9人	13人	
学期制度	<b>■前期</b> ：4月1日～9月30日 <b>■後期</b> ：10月1日～翌3月31日			成績評価	<b>■成績表</b> (有・無) <b>■成績評価の基準・方法について</b> 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 成績評価の基準 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定	
長期休み	<b>■学年始め</b> ： 4月1日 <b>■夏季</b> ： 7月21日～8月31日 <b>■冬季</b> ： 12月23日～翌年1月8日 <b>■春季</b> ： 3月18日～3月31日 <b>■学年末</b> ： 3月31日			卒業・進級条件	進級条件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること  卒業条件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること	

生徒指導	<b>■クラス担任制 (有)・無)</b> <b>■長期欠席者への指導等の対応</b> 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが、数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。	課外活動	<b>■課外活動の種類</b> 専門学校卒業作品展示会  <b>■サークル活動 (有)・無)</b>
主な就職先	<b>■主な就職先、業界</b> 清水建設(株)、(株)熊谷組、(株)ヤマダ・エスバイエルホーム <b>■就職率 100%</b> <b>■卒業者に占める就職率の割合 88.6%</b> <b>■その他 (任意)</b>	主な資格・検定	2級建築士、木造建築士、1・2級建築施工管理技士、2級建築施工管理技術検定試験、建築CAD検定
中途退学の現状	<b>■中途退学者 14名 ■中退率 7.8%</b> 平成24年4月1日在学者 178名 (平成24年4月入学者を含む) 平成25年3月31日在学者 164名 (平成25年3月卒業生を含む) <b>■中途退学の主な理由</b> 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養 <b>■中退防止のための取組</b> 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: <a href="http://www.neec.ac.jp/">http://www.neec.ac.jp/</a>		

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携体制を確保して、授業科目等の開設、その他の教育課程を編成する。そのため、校内の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導や評価を受けることができる体制をとることが可能な企業等を建設業界より選定している。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 8 月 27 日現在

名 前	所 属	任期
岡本 賢	一般社団法人日本建築美術工芸協会 会長	平成 27 年 3 月 31 日
松浦 徹男	株式会社久米設計 部長	平成 27 年 3 月 31 日
藤本 和典	株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム 部長	平成 27 年 3 月 31 日
千葉 茂	日本工学院専門学校 校長	平成 27 年 3 月 31 日
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成 27 年 3 月 31 日
清水 憲一	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ総轄科長	平成 27 年 3 月 31 日
山田 俊之	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
赤石 辰夫	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
井口 純	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
松村 哲志	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
岩田 明士	日本工学院専門学校テクノロジーカレッジ	平成 27 年 3 月 31 日
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部次長	平成 27 年 3 月 31 日

### (開催日時)

第 1 回 平成 26 年 8 月 27 日 10:00～10:30、10:40～11:10

第 2 回 平成 27 年 3 月 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等との打ち合わせにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
設計製図 1	図面トレース、模型制作を通じて設計製図の基礎について習得します。	アーキテクチャー・ラボ 一級建築士事務所 佐久間達也空間計画所
設計製図 2	建築図面の機能と読み方、図法の種類について基礎的な事項を学ぶとともに設計製図の知識を独立住宅などの設計演習課題を通して学びます。建築設計、インテリア設計、構造・設備、施工・土木それぞれの専門分野に応じた課題設定を行い分野ごとの図面に関する知識を習得します。	アーキテクチャー・ラボ ハシゴタカ建築設計事務所
設計製図 3	R C 造・S 造等の建築物の課題に取り組み、建築設計のコンセプトの作成、プランニング、プレゼンテーションなどの総合的な手法・技術を演習を通して学びます。計画、法規、構造、設備といった実務で必要な知識と設計手法を習得します。	アーキテクチャー・ラボ ハシゴタカ建築設計事務所
図学・基礎デザイン	デッサン、平面構成図法、パースの作成などを通して、造形的・色彩的センスを養います。	ハシゴタカ建築設計事務所 一間堂建築設計事務所
建築 CAD 3	2・3 次元 CAD を活用し、実務的な建築設計図の作成方法を実習的に習得します。	一級建築士事務所 佐久間達也空間計画所 一間堂建築設計事務所

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名 前	所 属	任 期
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役社長	平成27年3月31日
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事	平成27年3月31日
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役	平成27年3月31日
高橋 修	東京実業高等学校 進路指導副部長	平成27年3月31日
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクション チーフ	平成27年3月31日
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec\\_report.pdf](http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec\\_report.pdf](http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf)

授業科目等の概要

（工業専門課程 建築設計科）平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ビジネススキル	自分の適性を理解し、社会人としての心構えについて学びます。	1 前	30	2	○		
		○	スポーツ実習 1	スキーやスノーボードの集中授業をはじめ、様々なスポーツの実習を開講します。	1 後	30	1			○
		○	外国語 1	テクノロジー分野の英語や中国語などの基礎を学びます。	1 前	30	2	○		
○			建築計画 1	建築を計画し、デザインするための基礎知識に加え、バリアフリーなど必要とされている分野についても学びます。	1 前	30	2	○		
○			建築計画 2	住宅建築およびオフィス、店舗などの商業建築の計画手法について学びます。	1 後	30	2	○		
○			建築一般構造 1	建築構造の種類、構造材の種類および木造建築の構造を中心に学びます。	1 前	45	3	○		
○			建築一般構造 2	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造などの構造を中心に学びます。	1 後	45	3	○		
○			構造力学 1	安全な建物を設計するための構造計算の基礎について学びます。	1 後	45	3	○		
○			建築生産 1	木造在来工法と鉄筋コンクリート造の施工方法について学びます。	1 後	30	2	○		
○			建築材料	木材、石材、コンクリート、金属、ガラスなどの材料特性について学びます。	1 前	30	2	○		
○			建築・インテリア入門	建築・インテリアの概念および建築倫理などについて幅広く学びます。	1 前	45	3	○		
○			建築設備	快適な空間づくりのために必要な設備の基本について学びます。	1 後	45	3	○		

○			福祉住環境 コーディネーター対策	福祉住環境コーディネーター資格の試験に対応した演習問題を中心に取り組みます。	1 後	30	2	○		
○			図学・基礎 デザイン	デッサン、平面構成図法、パースの作成などを通して、造形的・色彩的センスを養います。	1 前	45	1			○
○			設計製図 1	図面トレース、模型制作を通じて設計製図の基礎について習得します。	1 前	90	3			○
○			設計製図 2	建築図面の機能と読み方、図法の種類について基礎的な事項を学ぶとともに設計製図の知識を独立住宅などの設計演習課題を通して学びます。	1 後	90	3			○
○			建築CAD 1	コンピュータの基礎的な操作と製図の基礎を習得します。	1 前	45	1			○
○			建築CAD 2	2・3次元CADを活用し、平面図・立面図などの設計図の基礎的な作成方法を習得します。	1 後	45	1			○
○			建築演習 1	建築に関する総合的演習を行います。	1 前	60	2			○
○			建築演習 2	建築に関する総合的演習を行います。	1 後	30	1			○
		○	海外デザイン 研修 1	海外におけるデザイン動向を現地で体験・学習します。	1 通	30	1			○
		○	スポーツ実 習 2	スキーやスノーボードの集中授業をはじめ、様々なスポーツの実習を開講します。	2 後	30	1			○
		○	外国語 2	テクノロジー分野の英語や中国語などの基礎を学びます。	2 前	30	2	○		
○			建築計画 3	学校、図書館などの公共施設の計画手法について学びます。	2 前	30	2	○		
○			構造力学 2	構造的に安全な建物を設計するために、静定構造及び不静定構造の力学的仕組みについて学びます。	2 前	45	3	○		
○			建築生産 2	鉄骨構造やコンクリートブロック構造、建物の工事の流れや仕上げ工事について学びます。	2 前	30	2	○		
○			建築法規 1	建築を安全・快適に設計するための法規の基礎について学びます。	2 前	45	3	○		

○		建築法規 2	建築の大きさ・高さなどルールや、建築士・建設業者が守るべき規則について学びます。	2 後	45	3	○		
○		建築史	建築様式を系統的に学び・美意識の変遷、デザインと建築技術の関係を理解します。	2 後	30	2	○		
○		環境工学	光、音・熱、空気などの室内環境に関わる基礎的な知識と建築計画への応用について学びます。	2 後	45	3	○		
○		建築積算	設計図書や仕様書の内容および各種経費などの積算・見積に関する基礎的な知識を学びます。	2 後	30	2	○		
○		施工管理技術者資格対策	2級施工管理技術検定試験の学科試験に対応した演習問題を中心に取り組みます。	2 前	60	4	○		
○		建築士資格対策	2級建築士試験に対応した演習問題を中心に取り組みます。	2 後	90	6	○		
○		設計製図 3	建築設計のコンセプトの作成、プランニング、プレゼンテーションなどの総合的な手法・技術を演習を通して学びます。	2 前	90	3			○
○		設計製図 4	2年間学んだことを基礎に、都市、各種建築物などの設計を中心にまとめます。	2 後	90	3			○
○		建築CAD 3	2・3次元CADを活用し、実務的な建築設計図の作成方法を実習的に習得します。	2 前	45	1			○
○		建築CAD 4	CAD/CGソフトを使用し、3次元モデルや映像を作成します。	2 後	45	1			○
○		建築演習 3	建築に関する総合的演習を行います。	2 前	30	1			○
○		建築演習 4	建築に関する総合的演習を行います。	2 後	30	1			○
○		材料実験	主要な建築材料の力学的性質を実験により学びます。	2 前	30	1			○
○		測量実習	距離・水準・角度などの測量の方法を習得します。	2 前	30	1			○
	○	建築設計実習 1	建築設計のコンセプトのまとめ方や表現技法などを演習を通して身につけます。	2 前	45	1			○

		○	建築設計実習 2	建築設計のコンセプト、デザインを表現するためのプレゼンテーション技法を演習を通して習得します。	2 後	45	1			○
		○	インテリア設計実習 1	インテリア設計のコンセプトのまとめ方や表現技法などを演習を通して身につけます。	2 前	45	1			○
		○	インテリア設計実習 2	インテリア設計のコンセプト、デザインを表現するためのプレゼンテーション技法を演習を通して習得します。	2 後	45	1			○
		○	建築構造・設備実習 1	構造設計に必要な基礎知識、照明・配線など電気設備の基礎について学びます。	2 前	45	1			○
		○	建築構造・設備実習 2	建物を建てるために必要な構造図面、設備図面の読み方、描き方について習得します。	2 後	45	1			○
		○	建築施工実習 1	建築工事のプロセスや建築現場見学を通して、建築施工の技術を習得します。	2 前	45	1			○
		○	建築施工実習 2	建築工事・土木工事のプロセスや現場見学を通して、建築施工、土木施工の応用技術を学びます。	2 後	45	1			○
		○	海外デザイン研修 2	海外におけるデザイン動向を現地で体験・学習します。	2 通	30	1			○
合計					50 科目	2190 時間 ( 97 単位)				